

# 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針策定に向けての取り組み

―更に検証を進め、令和4年度中に素案をお示しします―

閩こども未来室（内線291）  
教育指導室（内線369）

「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」については、令和3年9月号広報に「タウンミーティングでいただいたご意見や、市立幼稚園・保育所の現状と課題を掲載し、令和3年11月頃に素案をお示しする」としていましたが、より充実した教育・保育と持続可能な園運営を実現するため、同方針の策定については、市立幼稚園・保育所の状況確認を更に行い、各事業の成果や課題整理について時間をかけて検証をしたうえで、令和4年度中に同方針の素案をお示しする予定です。

現在、市立幼稚園では、より充実した教育・保育を提供するため、最近取り組んでいる事業について検証を進めており、全市立幼稚園の在籍合計が1学年100人程度で集団による保育が難しい園もあることから、適正規模での集団保育ができる園の配置や内容についても検討をしているところです。

また、保育所などでは、令和3年度当初の待機児童が「ゼロ」となり、現在保育ニーズの状況などを注視しているところです。



## 市立保育所の今後の取り組み

市立施設のスリム化と、時代に沿った新たなニーズに対応

市立保育所の施設のあり方については、平成22年に「市立保育所民営化基本方針」を策定しています。内容としては、認可保育所としてのサービスを実施する市立保育所と民間保育所との間に運営費の仕組みにより大きなコスト差が生じている現状や、これまでの民間保育所

における保育サービス提供の実績から、市立保育所の一部民営化を示したものです。市域を4つのブロック（北部・南東部・金剛・金剛東）に分け、各ブロックに地域の子育て支援拠点として市立保育所を置き、市立保育所を7園から4園とします。

既にみどり保育園1園を民営化しており、あと2園の民営化を進める予定です。

### 待機児童の解消と民営化の方法

本市では、待機児童解消のため、平成30年度から毎年新たな民間保育施設を誘致（整備）しており、令和3年度には年度当初の待機児童が6年ぶりにゼロとなったところですが、年間を通じての待機児童解消と市立保育所の民営化を一体的に取り組むこととし

ます。その方法については、民間保育施設の誘致（整備）を令和6年度まで継続して保育の受け皿を拡大（確保）しつつ、保育ニーズのピークに対応しながら市立保育所の保育の受け皿を縮小していきます。

民間保育施設の誘致状況

開設(予定)年度	施設名
平成30年度	家庭的保育 Kotona 家庭的保育チアメイト梅の里
平成31年度	そら 宙保育園
令和2年度	りあん 葵音つばさこども園
令和3年度	富田林桜げんき園
令和4年度	(仮称)くみの木こども園なかの
令和5年度	(仮称)げんき桜桃保育園

①令和3年度に実施している事業を継続します

3年保育
預かり保育
園での給食

※全園で実施中。



令和4年度も引き続き実施

## 市立幼稚園の今後の取り組み

②子どもたちに適した集団の規模・内容を検証します



※令和3年から運行を始めた「スマイル号」での合同保育。

子どもたちにたくさんの人数で活動する経験を提供する合同保育を引き続き実施し、令和4年度も多くの仲間からさまざまな刺激を受ける機会をこれまで以上に設けます。

③令和4年度に入園の子どもたちについて

令和4年度に3歳児クラスに入園する子どもたちについては、卒園までの3年間同じ園に通っていただけます。

### 市立施設で新たにに取り組む事業

本市では、市立、民間の保育施設が連携しつつ、保育を支えています。

通常保育のほか、必要性が高まっている「医療的ケア児の受け入れ」「療育的支援の充実」「病児保育の充実」などの取り組みについては、市立施設が積極的に担うべき役割と考えています。

### 金剛保育園の適正規模化（受け入れ枠の半減）

金剛保育園については、定員が240人の大規模園で、運営上の難しさを抱えています。保育者と園児の関係が築きやすく、きめ細やかな保育ができるよう、適正な規模（定員120人）へ受け入れ枠を半減します。

空いた保育室を活用して、「医療的ケア児の受け入れ」などの市立施設の新たな取り組みを進めます。

### 令和4年度から入所の利用調整を実施

金剛保育園の受け入れ枠を

市立金剛保育園の適正規模化（受け入れ枠半減）と民間保育施設誘致（保育の受け皿確保）の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
金剛保育園	通常運営 定員 240人	0歳児定員縮減		1歳児定員縮減		2歳児定員縮減		3歳児定員縮減	
				3歳児定員縮減		4歳児定員縮減		5歳児定員縮減	
		定員規模の適正化で空いた保育室を活用することで、市立施設で新たに 取り組む事業と両立します。 【新たな事業】 ・医療的ケア児の受け入れ ・療育的支援の充実 ・病児保育の充実 など							
		運用定員 120人							
民間保育施設誘致	令和3年4月	富田林桜げんき園開園（定員105人）							
	令和4年4月	くみの木こども園なかの開設予定（定員120人）（中野町一丁目）							
	令和5年4月	げんき桜桃保育園開設予定（定員74人）（甲田一丁目）							
	令和6年4月	開設に向けて新たに募集予定（定員100人程度）							

半減する方法については、0歳児から順に各年度の受け入れ枠を減らしていきます（左図参照）。  
ただし、令和4年4月の0歳児入所希望者については、全て受け入れれます。